



赤い羽根
福祉基金

赤い羽根福祉基金 2023年度

ユースサポートハウスとは？

★様々な理由で困難な状況にある方

★親元、施設等から自立する前に、一人暮らしの練習をしたい方を対象に、その方の状況・能力に配慮しながら、一人暮らしの体験や住宅確保、生活破綻防止を援助しながら自立に向けてのサポートを行います。

お問い合わせ

【住所】

札幌市東区北22条東8丁目2-20
K.HOME「ゆるび」1F事務所
地下鉄東豊線 元町駅より徒歩15分
北21条東8丁目バス停留所より徒歩3分



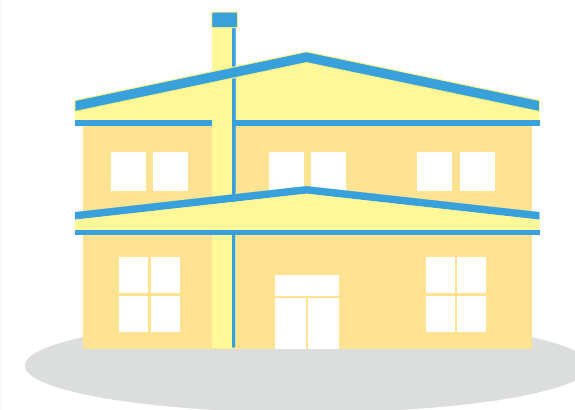
【連絡先】

電話：080-3265-8832
Email：sumaisoudan@cmtwork.net



ラインでのお問い合わせ

ユースサポート ハウスのご案内



実施団体
NPO法人コミュニティワーク
研究実践センター

<http://www.cmtwork.net/>

本事業は、赤い羽根福祉基金2023年度の助成を受け実施しています。

対象年齢

16歳から30歳までの方。

利用までの流れ

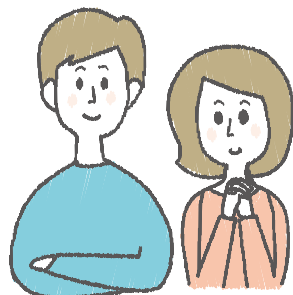
①本人及び関係者からの連絡

②事業説明

③状況確認【面談】

④利用申し込み

⑤利用開始



※利用申込の前にお部屋の見学をして頂きます。

利用料

- 収入の無い方・収入の低い方(月36,000円未満): 無料
- 収入のある方(月36,000円以上): 1日300円~1,500円

※利用料には、家賃、光熱水費、食材費を含みます。

※収入とは、同居する家族・知人等の収入ではなく、あくまで本人の収入です。

※月の収入とは、働いてる方の場合、手取りの金額から勤務先までの交通費を引いた金額を収入とします。

※収入の25%を目安として、30で割った金額を1日の利用料とします。(100円未満は切り捨て)

※生活保護受給中もしくは申請中の方は別途ご相談下さい。

利用期間

概ね2週間から6カ月

※本人の希望、状況によっては1日からの利用も可

※親元、施設等から自立する前に一人暮らしの練習をしたい方は、2週間から1カ月を目安とします。

アンケート・インタビューへの協力

ユースサポートハウス事業を通じて、若い方の抱える生きずらさや困難さを明らかにし、若い方の生活を支える仕組みづくりの政策提言をしたいと考えています。本事業利用期間・利用終了後に行うアンケート調査やインタビューにご協力下さい。

ユースサポートハウスの支援内容

具体的な支援内容は相談員と面談の上、決定します。

- ・居宅場所の提供(個室・家具、家電付き)・食材、生活消耗品の提供
- ・金銭管理(家計簿をつける)・貯蓄援助・自炊の練習
- ・清掃指導・洗濯指導(洗濯機の使い方・下着、衣類等の干し方)
- ・就労・生活相談・行政サービスへの同行など・生活・就労の振り返り面談
- ・ジョブトレーニング

部屋・設備



設備

- ・キッチン・1口ガスコンロ・冷蔵庫
- ・テレビ・食器・調理器具
- ・洗濯機(共用)・ベット(寝具付き)
- ・ストーブ・扇風機・電子レンジ
- ・座卓・ユニットバス・洋式トイレ
- ・Wi-Fi など